

「共助」～地域の力で、みんなを守る～

令和元年10月12日(土)から13日(日)にかけて大型の台風第19号の影響で関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらしました。

上里町では関係機関および多くの町民の皆さまのご協力により、人的被害など大きな被害の報告はありませんでしたが、近年経験したことのない大型の台風の影響に伴う対応として、避難所を開設しました。

背景の写真は、この台風第19号により増水した神流川の状況です。もしもこの時に、下久保ダムが満水になり、緊急放流をしていたら、河川が氾濫し、皆さまの住宅にも被害が及んでいたかもしれません。

自然災害はいつどこで発生してもおかしくありません。過去の経験や幸運に頼るのではなく、一人ひとりが自らの命を守るために、今の生活を見直し、早めの避難や事前の備蓄といった対策を確実に実行していくことが非常に大切です。

今回は、今後ますます増えていくであろう自然災害に対応するための「備え」についてご紹介します。



▲非常時持出品の例

【自分の命は自分で守る「自助」】

災害時、まずは自分の身の安全を確保する「自助」が基本となります。

台風は地震とは異なり、あらかじめ進路や勢力が予測できる災害です。雨風が強まる前に対策を済ませておきましょう。

家の周りの点検・補強

飛ばされやすいものを片付ける：鉢植え、物干し竿、自転車などは屋内へ入れるか、ロープでしっかり固定しましょう。

家族との連絡方法の確認

災害時は電話がつながりにくなります。「災害用伝言ダイヤル(171)」の使い方や、もしもの時の集合場所(避難所など)を家族で話し合っておきましょう。

ライフライン停止への備え

台風による暴風で、長期間の停電や断水が発生する可能性があります。いざというときに備え、日ごろから準備しておきましょう。

備蓄品

最低3日分(できれば1週間分)の飲料水(1人1日3リットル)と、調理不要で食べられる食料を備蓄しましょう。「ローリングストック(日常的に消費しながら買い足す方法)」がおすすめです。

非常時持出品

懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリー、常備薬、簡易トイレなどをリュックにまとめておきましょう。

【地域で助け合う「共助」の力】

大災害が発生した際、行政の支援(公助)がすぐに行き届かない場合があります。そんな時に命を救う大きな力となるのが、地域の人々が助け合う「共助」です。

日ごろのご近所付き合いが最大の防災

「お隣さんは足が悪かったな」「あそこのお宅には赤ちゃんがいるな」といった地域の情報を知ることが、いざという時の迅速な避難支援につながります。日ごろから挨拶や声かけを行い、顔の見える関係を築いておくことが大切です。

台風が接近し危険が迫っている時は、ご近所同士で声を掛け合い、避難に支援が必要な方と一緒に、安全な場所へ早めに避難しましょう。



神保原一丁目自主防災会 避難訓練の様子

「自助」～自分と家族の安全を守る～

【正しい情報を手に入れるために】

■ 防災情報の取得手段を確認しましょう

災害時は、デマや不確かな情報に惑わされず、町や気象庁が発信する「正しい情報」をこまめに取得することが重要です。

〈主な情報取得手段〉

・ 防災行政無線

屋外スピーカーからの一斉放送のほか、以下の方法でも放送内容を確認できます。

- ①放送内容の聞き直しができる電話応答サービス
(フリーダイヤル0120-415-455)
- ②町ホームページで放送内容の確認
- ③電話で配信する「でんくるし」

・ 町公式LINE ・ 防災情報メール



▲ LINE



▲ 防災情報メール



▲ 防災ガイド ハザードマップ

■ ハザードマップをお手元にご用意

情報取得手段の一覧や避難所の詳細などは、町が発行している「ハザードマップ」に詳しく記載されています。令和3年9月に毎戸配布していますが、お持ちでない方、紛失してしまった方は、くらし安全課（庁舎2階）窓口で配布しているほか、町ホームページからもご覧いただけます。いざという時にすぐ見られるよう、分かりやすい場所に保管しておきましょう。

～展示や体験を通じて、防災意識を高めよう～

「防災フェスティバル」を開催します！

防災に関するさまざまな展示・体験コーナーを設けています。この機会に防災意識を高め、災害への備えを再確認しましょう。

日 時…9月13日(日)、午前10時30分～午後2時

会 場…イオンタウン上里南側駐車場（右図）

問合せ…くらし安全課防災安全係

【☎35-1226】

今回から会場が変更になります



内 容

訓練（午前11時から）

■障害物除去訓練 ■放水訓練

■はしご車操法訓練 ■偵察飛行訓練 など

展示・体験コーナー（正午から）

■消防車放水体験

■災害用車両の展示

■赤十字奉仕団による炊き出し など



防災フェスティバルの様子

～物価高騰の影響を受ける町民および事業者への支援～

水道基本料金等の減免を2か月延長します! 上里町 物価高騰支援策のお知らせ 3,298万円

町では、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を踏まえ、さらなる物価高騰支援策として、水道基本料金等の減免を2か月延長します。実施内容は以下のとおりです。

◆上水道経営健全化事業（物価高騰対策 水道基本料金等減免） 3,298万円

- ・**事業概要**…水道基本料金およびメーター使用料について減免を行うことで、生活者および事業者の支援を行います。
- ・**対象者**…上里町上下水道事業の水道使用者（一般家庭・店舗併用住宅・事業所など）
- ・**延長前の期間**…令和8年4月～9月請求分を減免（6か月分）
- ・**延長後の期間**…令和8年4月～11月請求分を減免（8か月分）

※本減免に関し、手続き等は不要です。

問合せ…上下水道課業務係 ☎33-4161

任期満了に伴う新たな 農業委員と農地利用最適化推進委員が決まりました

農業委員14名・農地利用最適化推進委員12名が就任されました。任期は令和11年7月19日までとなります。

（敬称略）

担当地区一覧			
地区	氏 名	委員区分	担当地区
賀 美	石井 慎也	農業委員	大字黛、金久保
	岩田 常治	農業委員	
	飯塚 好一	推進委員	
	並木 孝夫	農業委員	大字勅使河原
	相川 崇樹	農業委員	
	関根 秀樹	推進委員	
長 幡	梶本 博正	農業委員	大字五明
	川浦 正三	推進委員	
	関根麻由美	農業委員	大字帯刀、藤木戸
	塚越 松吉	推進委員	
	笠原 隆	農業委員	大字長浜
	小林 雅彦	推進委員	
	青木 毅志	農業委員	大字大御堂
	小暮 孝之	推進委員	

担当地区一覧			
地区	氏 名	委員区分	担当地区
七 本 木	坂本 茂	農業委員	大字七本木（西）
	松本 里美	推進委員	
	高橋 茂	農業委員	大字七本木（東）
	北畑 光男	推進委員	
	野崎 正巳	農業委員	大字堤、三町
	今泉 好美	推進委員	
	平塚 文子	農業委員	大字嘉美
	小林 武	推進委員	
神 保 原	齊藤 厚	農業委員	大字神保原町
	岩田 均	推進委員	
	関口 越夫	農業委員	大字八町河原、忍保
	原 清	推進委員	

問合せ…農業委員会事務局 ☎35-1232

令和8年度 合併処理浄化槽設置補助金

上里町浄化槽設置整備事業補助金交付申請が予定基数に達していないため、追加募集を行っています。

【受付期間】 先着順で随時受け付けています。 ※受付状況については、お問い合わせください。

【対象者】

①上里町生活排水処理基本計画で設定されている浄化槽整備区域内にお住まいの方

※区域に該当するかどうかはお問い合わせください。

②専用住宅等に設置されている汲み取り便槽または単独処理浄化槽を、10人槽以下の合併処理浄化槽へ転換する方

③交付決定後に工事着工し、工事完了後1か月以内または令和9年3月1日(月)のいずれか早い日までに実績報告書を提出できる方

【補助限度額】

①転換(本体費)補助

浄化槽の設置に要する費用(配管費と処分費を除き、千円未満切捨)の1/2の額と以下の額を比較し、いずれか少ない額

・5人槽…35万2千円/基 ・7人槽…43万4千円/基 ・10人槽…56万8千円/基

②処分費補助

転換に要する既存浄化槽等の処分費の額(千円未満切捨)と以下の額を比較し、いずれか少ない額

・単独処理浄化槽…9万円 ・汲み取り便槽…6万円

③配管工事補助

転換に要する配管費の額(千円未満切捨)と15万円を比較し、いずれか少ない額

申込先・問合せ…くらし安全課生活環境係【☎35-1226】

動物愛護週間
9月20日～26日

動物は適切に飼いましょう

犬や猫など、動物の飼育方法についての苦情が、多数寄せられています。近隣の方に迷惑をかけないよう、マナーを守って適切に飼育しましょう。

❖人に危害を加えないよう、室内で飼育しましょう。室外で飼う場合は、檻などにいれるか、鎖などでつなぎましょう。

❖動物にも命があります。飼育できるかどうか、家族で相談するなど、よく考えましょう。

❖動物を飼うと決めたら、一生懸命面倒を見ましょう。動物への虐待・必要な食事を与えない・捨てる行為は、法律により罰せられます。

❖かわいそうだからと野良の動物に餌付けをしてはいけません。ふん尿や鳴き声が、近隣の方の迷惑となっている場合があります。餌やりをした人は飼い主とみなされます。

❖しつけやふんの始末は、飼い主がしなければなりません。散歩に連れていく場合は、リードをつけましょう。

また、シャベルやビニール袋などを用意して、ふんをしたら持ち帰って処分しましょう。

申込先・問合せ…くらし安全課生活環境係【☎35-1226】



令和8年7月のごみの量は…

家庭系ごみ(可燃・不燃・有害・粗大)

前月と比べて
24gの減量です

排出量 589.0 t

【ひとり1日あたり約628g】

埼玉県内のひとり1日あたりのごみの排出量は約484gです。(令和6年度)

～減らす・分別・再利用を心がけましょう～

問合せ…くらし安全課生活環境係【☎35-1226】

『児玉郡市ごみ分別アプリ』のご利用を!

「このごみは燃えるごみ?それとも燃えないごみ?」

「このごみを出すときの注意点は何か?」このような経験はありませんか。

児玉郡市では、『ごみ分別アプリ』を配信しています。お住まいの地区を設定することで、その地区の「収集日カレンダー」が表示されるほか、「ごみ分別辞典」「町からのお知らせ」などの情報も満載ですので、ぜひご利用ください。



▲iOS版



▲Android版

9月10日～16日は自殺予防週間です

日本では、毎年約2万人の方が自ら命を絶っています。

自殺は、決して特別な人だけの問題ではなく、誰にでも起こりうる身近な問題です。

一人で悩まず、声をかけ合い、地域で支え合うことが大切です。



いのち
支える

上里町のホームページから、セルフメンタルチェックシステム「こころの体温計」をご利用いただけます。気になる心の状況をチェックすることができます。



◀町ホームページ
「こころの体温計」

問合せ…町民福祉課社会福祉係
【☎35-1224】

自殺を予防するポイント

自分自身

～自殺につながりやすいこころの病気を予防しましょう～

- 悩みやストレスを誰かに話してみましょう。
- 自分なりのストレス解消法を見つけてみましょう。
- 「自分は大丈夫。」と放置せず、おかしいなと感じたら専門機関を受診しましょう。

周囲の人

○気づき ～周りの人の悩みに気づき、耳を傾ける～

家族や仲間の変化に気づいたら、自分にできる声かけをしていきましょう。悩みを話してくれたら、時間をかけて、できる限り傾聴しましょう。

○つなぎ ～早めに専門家に相談するよう促す～

プライバシーに配慮した上で、家族、友人、上司といったキーパーソンと連携して、医療機関などの専門家との相談につなげましょう。

○見守り ～温かく寄り添いながら、じっくりと見守る～

身体や心の健康状態について、あせらずに優しく寄り添いながら見守りましょう。

必要に応じ、キーパーソンと連携をとり、専門家に情報を提供しましょう。

ブルーライトアップを実施します

9月23日は「手話言語の国際デー」、9月21日～27日は「国際ろう者週間」です

「手話言語の国際デー」は、2017年12月19日に国連総会で決議されました。決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進することとされています。

世界ろう連盟は2022年から、国連や世界ろう連盟のロゴの色で世界平和を表す青色のライトアップを世界各地で呼びかけています。この呼びかけに応じて全日本ろう連盟でも、ブルーライトアップの取組を行っています。

町では、この趣旨に賛同し、ブルーライトアップを実施します。

■期 間…9月17日(木)～30日(水)、午後6時～10時

■場 所…上里町役場



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

問合せ…町民福祉課社会福祉係 【☎35-1224】

『秋の全国交通安全運動』

9月21日(月)～30日(水)は『秋の全国交通安全運動』期間です

◆全国重点目標

- 〈歩行者〉歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進
- 〈自動車〉夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶
- 〈自転車〉自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルール理解・遵守の徹底



～街頭啓発を実施します!～

日時…9月24日(木) 午前11時
場所…メガセントラルライアル上里店
交通安全の啓発品と梨サイダーをお配りします!ぜひ、お越しください!
(配布数には限りがあります)

◆埼玉県スローガン

『人も車も自転車も 安心・安全 埼玉県』

問合せ…くらし安全課生活環境係 ☎35-1226

令和8年度彩の国埼玉環境大賞の候補者募集

環境保全などに取り組む個人、団体やSDGsの達成に向けた取り組みを行っている事業者を埼玉県知事が表彰します。

応募資格…県内で活動する個人、団体、事業者(自薦、他薦は問いません)

応募方法…詳細を県環境政策課のホームページで確認の上、9月30日(水)までに県環境政策課へ
問合せ…埼玉県環境部環境政策課 ☎048-830-3019



▲県環境政策課
ホームページ

町長コラム

山下 博一



96

◎7月27日(月)開催、「児童生徒との上里町長意見交換会」に思う

はじめに、7月28日に発生した「令和8年熊本地震」に被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。一日でも早い復興を心より祈念いたします。

年前の熊本地震の記憶と教訓は、今もなお忘れられておらず、改めて自然の脅威に驚かされます。町では募金箱を庁舎1階の総合受付や各公民館に設置しました。ぜひ、上里町から現地へ支援の思いを届けましょう。

一方、世界に目を向ければ、紛争や人道危機などにより、日常の生活や教育の機会を失っている子どもたちもいます。平穩な学校生活を送り、友人と語り合ひ、将来について考えられることは、決して当たり前のことではありません。

☆子どもたちの声から考える、これからの上里町

こうした時代だからこそ、児童生徒との意見交換会には大きな意味があります。私が児童生徒と直接向き合い、地域の課題や未来について語り合うことは、子どもたちが自分たちの暮らしや故郷を自分事として考えるきっかけとなります。同時に、上里町にとっても、次代を担う子どもたちの率直な声を聴き、これからの町づくりを考える大切な機会となります。



▲児童生徒との上里町長意見交換会の様子

防災、教育、子育て、地域づくり、行政だけでなく、解決できるもの、一人ひとりが考え、互いに意見交換し、できることから行動することが求められています。

☆未来の上里町への期待と希望

今回の意見交換会では、上里町への期待の声が多く聞かれました。期待の大きさは町が発展する原動力と考えますが、検討を要するものやすぐに着手することが難しいものもありました。しかし、上里町で学び、暮らし、子どもたちが、将来に希望を持ち、「この町をより良くしたい」と思える地域をつくる。その第一歩は、子どもたちの声に耳を傾けることではないでしょうか。「子どもたちの笑顔を守る町政をしたい」と、心の底から強く思いました。